



ハイウェイ九条を考える会



No8 2009・4・1
 連絡先 〒334-0001
 鳩ヶ谷市桜町 6-13-16
 森 克彦 048-283-3183
 清水 昇 043-291-7293

ホームページ <http://www3.mns.ne.jp/pri/toshi601/> (「ハイウェイ九条の会」で検索できます)

オバマ米大統領の就任式の中継を見て

世話人 森 克彦

「私は郵政民営化に反対だった」と漏らした麻生首相に対して小泉元首相が反発しマスコミを賑わしている。麻生首相は昨年 9 月就任以来しばしばその発言、とりわけ日本語が普通に読めなかったことで国民からひんしゆくを買っている。

そして今回、内閣の最重要ポストにあった中川財務・金融大臣がイタリアで泥酔状態で記者会見に臨み世界から笑い物にされた。その中川大臣を麻生首相は最後までかばい続けたと云うから麻生首相も同じ穴のむじなに違いない。このような日本語を人並みに喋れない常識に欠ける方々が我が日本の最高指導者であることを恥ずかしく思う。

もう一ヶ月が過ぎたが、アメリカではブッシュに代わってオバマ大統領が誕生した。オバマ大統領は宣誓の際、リンカーンが使った聖書の上に左手を載せ右手を掲げ「合衆国憲法を擁護すること」を 200 万の聴衆の前で誓った。奴隷解放を宣言し「人民の人民による人民のための政府」を目指したリンカーンを強く意識したようである。

一国の最高指導者が国民の前でその国の基本法である憲法を守り政治を行う旨を宣誓することは国民との信頼関係を築く第一歩であると思う。我が日本でもそのような光景を我々の世代で実現させたいものである。

憲法 25 条「生存権」の映画

「いのちの山河」

千葉県 西岡 幸雄

日本国憲法は、占領軍に「押し付け」られたものじ



製作委員会ホームページより

やない。鈴木安蔵らのまとめた新憲法原案が下敷きになっている。そうした少なくない真面目な国民がいたからこそ、今の憲法があるんだ。という史実を映画にした「日本の青空」が、昨年来全国各地で好評上映されてきた。

一方、後期高齢者医療制度が始まり混乱をきたし、大量派遣労働者首切りで、今日明日の生活すら危うい労働者が大量発生し、「生存権」すら風前の灯になってきた。

こうした中、「日本の青空II」として、同監督（大澤豊）による「いのちの山河」の撮影が進められている。

これは、1961 年岩手県沢内村で、全国に先駆けて始まった「60 歳以上の老人・乳児医療の無料化」導入の奮闘にまつわる物語だという。

そういえば、東北のそんな名前の自治体で、素晴らしい医療制度が始まったとその当時話題になり、瞬間に全国に広がっていった記憶がある。今の医療制度の現実をみれば、夢のような出来事だった気がするのには私だけなのか。

映画の主役の村長役は長谷川初範、他にとよた真帆、大鶴義丹、宍戸開、小林綾子、加藤剛親子などの出演が決まっている。

現在、製作協力券 1,000 円（全国どこで上映される会場でも使用可）を扱っている団体や個人がいます。ぜひ、協力してください。私も、扱っています。また、この夏以降、近くで上映される機会があれば、誘いあって是非見てください。

「9 条も 25 条も」日本国憲法の輝きを失わせないように。

少年の日、戦争の頃

呼びかけ人 洞田 啓介

彼は1935年5月14日、東京の江戸川区小岩に生まれた。父親が26才、母親が24才の時の子である。因みに彼の父親は引っ越し好きというか、腰が座らないというべきなのか、彼と姉妹すべて同じ家に生まれていない。彼が5才の時には、世田谷区笹塚に引っ越し、北沢国民学校に入学した。(昭和16年4月に、政府は初等教育で軍国主義を徹底するため、国民学校令を公布し、小学校を国民学校と改称した。*)

彼は笹塚で4年余り暮らしたが、彼の家が一番幸せな時期だったかもしれない。毎晩夕食が終わると、父親が火鉢の周りに子供たち3人を集め、ホメロスの「イリアード」、「オデッセイ」を読んでくれ、アキレスの強さに胸をときめかしたりした。しかしこれと反対に世の中は戦争への道を突き進んでいた。16年12月8日の真珠湾攻撃に始まり、シンガポール陥落のときには街中を提灯行列で祝ったりした。それから間もなく甲州街道に並ばされ、多摩墓地に向かう山本・古賀連合艦隊司令長官の葬儀車を見送ったりした。

《奉安殿と教育勅語》

校庭の一角には神社のような奉安殿というものがあり、その前を通る時には、いかなる場合でも最敬礼をしなければならなかった。その中には天皇と皇后の写真(御真影といった)が入っているだけである。校庭で朝礼が行われる時は、まず始めにこの奉安殿に向かって校長以下全員、頭を下げなければならない。雨が降れば体育館で朝礼が行われるが、体育館の正面の一番高い所の奥にも観音開きがあり、その中にもやはり天皇、皇后の写真と教育勅語が入っており、これに向かって全員最敬礼をした後、校長が白い手袋をはめ、うやうやしく教育勅語を取り出し、おもむ

に「朕惟うに、我が皇祖皇祖国を肇むること宏遠に……御名御璽」と読みあげる。この間、その意味も判らぬまま全員頭を下げて聞き入るのである。校長が訓示する時「天皇」という言葉を発すれば、校長は勿論、先生、生徒全員が直立不動の姿勢をしなければならなかった。このように国民学校入学と同時に徹底的に皇民化教育を叩き込まれた。そのせいか3年以上は男生徒は剣道、女生徒は薙刀を教えられるのだが、1、2年の頃には早く木刀を握りたくて3年になるのが待ち遠しかった。

《召集令状・戦場のはなし》

父親にも何回か召集令状が来たが、何時も不合格で帰されてきたのには子供心にも不思議に思っていた。「どうして」と訊ねても「体が弱いから」と云うのみであった。父親が亡くなった後、母親がその理由を教えてくれた。召集令状が来ると絶食を続け、正油を飲み続けて検査を受け、不合格の烙印を押され帰されたらしい。

父親は男4人、女4人兄妹の長男で、第3人は全員召集されたが、全員無事復員している。次男は入隊後結核に罹り入院し、戦争中治療に専念し、敗戦後元気に退院した。三男は南方に一兵卒として派遣されたが、いつの間にか曹長になり、結構羽振りを利かせていたらしい。ある時、「実際に戦ったのか」と訊ねたら「何一つ武器が無く、戦いなんか出来る訳がない。毎日畑仕事をして食糧確保ばかりだよ」と笑っていた。四男は千島列島のキスカ島守備隊に配属されていた。アッツ島で山崎大佐以下全員玉砕したので、次はキスカ島に攻めてくるのは必至と待ち構えていると、霧の濃い日に上陸してきて戦争になり戦死者が出たらしい。そのうち霧は晴れたのでよく見ると、そこには日章旗がはためいていたという。要するに同志討ちで、戦死者は犬死である。これは完全に極秘事項として口封じされたと云っていた。四男はシベリアに抑留されたが数年後無事帰還した。父親の弟妹は三男を除き全員冥界に旅立ったが、三男は90才になり、現在もかくしゃくとして、学生時

代の親友（義弟でもある）と一緒に老人ホームで余生を送っている。この親友はノモンハンの生き残りである。ノモンハンで中隊に二百数十名中生き残ったのはわずか二十数名で、そのなかの一人である。戦争なんてもんじゃなく屠殺場だったという。当時の話を聞きたいと思っているのだがなかなかその機会がない。早くしないと……。

《疎開生活》

彼が国民学校3年になると日本への空襲も激しくなり、地方への疎開も始まった。彼の母親は青森県大鰐町出身だったので、彼等妹弟3人も母親の姉の家に疎開することになった。東京から大鰐までは列車で一昼夜かかった。今でこそ蒸気機関車はSLと呼ばれてマニア垂涎の的だが、当時はトンネルに入る時は窓を閉めないと車内は煙で充満するし、トンネルを出て窓を開けると熱い石炭殻が飛び込んでくる。汽車から降りた時は顔中すすだらけとなる。とてもカッコいい代物ではなかった。

伯母（津軽弁ではあば）の家は、伯父（津軽弁ではおど）がリンゴ園とタバコ屋を兼業していたが、タバコは配給制で殆ど商売にはならなかったらしい。子供は国民学校の先生をしている従姉がいた。そこへ育ち盛り、食い盛りが3人舞い込んだのだから、伯母のやりくりも大変だったと思う。3食のうち1食はカボチャ。3食共味噌汁の具はほとんど大根葉だった。

翌年3月末になると両親も3月25日の大空襲で焼け出され、着のみ着のままでころがりこんで来た。町中の旅館にも子供たちの集団疎開で一杯になってきたが、彼等は町の子供たちと交流することはなく、敗戦後間もなく引揚げて行った。

伯父の家には、伯母の兄一家も疎開して来て、先住借間家族も二家族、全部で5家族が一家に暮らすことになった。伯母の兄一家には、彼と同年令の男の子がおり、ある時二人で山に食物探しに出掛けた。山の畑には水瓜や真桑瓜が成っていたが、腹を空かしていた

二人は手当たり次第水瓜と真桑瓜を食べまくった。このことは絶対秘密と堅く誓って家に帰ったが、悪いことは必ず露見するもので、夜中に二人共腹が痛みだし、家中大騒ぎとなり、親からは何を食ったのかと問いつめられたが、口を割らずに痛みを耐えていた。しかし思わぬ所で口を割ることになった。二人ともへどを吐き水瓜と真桑瓜が全部口から出てしまった。山にはよく行った。春には山菜採り、秋には山いちご、山ぶどう、桑の実にあけび。あけびは当時は甘くてうまかったが、今食べても種ばかりであまり甘くない。山形ではあけびの中味は捨てて、そこに貝を入れて油で揚げて食べる。珍味である。

《敗戦の日・浜圭介》

敗戦の日のことは今でもはっきり覚えている。8月15日は大鰐も日が照りつけるとても暑日だった。学校へ行くと先生から「今日の昼に大事な放送があるから必ず聞きなさい」と云われてすぐに帰された。昼頃ラジオの前に近所の人たちが集まり、耳を傾けたが、男の人が変な節まわしで何か話していたが、ガーガーピーピーと雑音も多く、さっぱり判らなかった。周りの人に聞いても皆判らないと云っていた。後でそれが天皇と玉音放送で、日本が負けたと云っているのだと云われたが、別に何の感慨も無かった。

戦後は大鰐にも時々ジープで米兵が来るようになった。女漁りである。町中の料亭の仲居を目当てに来ることは子供にも判った。ジープの周りに群がるとガムとかチョコレートを呉れた。食糧不足は戦中より戦後の方が酷かった。

敗戦後間もなく、満洲からの一家が引き揚げて来て、伯母の家に間借りをしていた。両親と男の子3人で、末子が彼と同じ名前だった。それが今流行作曲家で数々のヒット曲を作曲した浜圭介である。本名は啓介という。上の兄二人は弘前で、その筋の顔役になったらしい。とてもそんな風には見えなかったが。

大鰐では3年余り暮らしたが、その後父親の転勤で函館に転校した。

敬愛する友の問いかけに答えて

- 派遣問題、労組、民営化等と九条 -

世話人 しみず こう

もう去年の暮のことですが、敬愛する益岡 寛兄から次のようなメールが突然舞い込みました

- 凄いいことになって来ましたね。この首切り！派遣切り。内定取り消し。いざとなるとナリフリ構わずの感。しかし、まだまだ労働の方が甘すぎると思われる。
1. 小泉も凄まじかったが、この間、組合は何をしていたのか、野党は何を考えていたのか？今更のように騒いでも全て手遅れではないか？
 2. オレは何のため組合の役員をやっていたのだ？
 3. 総評には太田薫しかいなかったのか？
 4. 道路公団民営化のときオレは何故立ち上がれなかったのか？
 5. 今、なぜ九条改訂に反対しているのか？

彼の問いかけは、一見ばらばらな論点の羅列ですが、気持ちはよくわかります。これは返答しなければ、と思ひ、書いてみました。

労働組合がいかに大事なものか、おそらく今ほどその必要性が痛切に感じられる時代は、戦後の日本の歴史の中でもそう多くはないのでは、と思います。しかし、その時に、その存在感が希薄なことは悲しいことです。小泉氏も、本当に資本と対決する労働組合の非力さを利用して「新自由主義」（いわゆる「構造改革」）をブッシュにまねて遂行したとも考えられます。

高度経済成長の時代と総評を中核とする労働組合の活動の時代が重なることは偶然ではないと思います。資本は、労働との対決と労組のチェック機能（組合は資本の暴走のチェック機能をもつ）のなかで成長を遂げることができたのだと、僕は思います。この対決とチェックが働かないと、資本は必ず暴走します。「企業の社会的責任」などというきれいごとだけでは、解決しないと思います。

道公労の62年から66年にかけての”臨時職員の

職員化”、“委託反対”、“職務給反対”などの諸闘争は、今日の格差拡大の状況を見れば、まさに”先進的な闘い”だったと思います。だから、かつての「道公労」は、世の中を積極的に前進させる一翼を立派に担ったのだと思います。僕はこれらの戦いの中にいることができたことを、今でも誇りに思っています。

いわゆる「道路関係公団の民営化」も、ほとんど意味のない「改革」だったことが、今日では明らかです。

「ひどすぎる」という思いが「百人委員会」をつくらせたのだと思います。それは、「道公労」の伝統を引き継ぐ活動でもあったのだと思います。

一方には、“貧富・格差の拡大”、“規制緩和による無理な競争激化”、“本来公の仕事であるべき部門の民間営利事業化”、“大企業への減税と大衆課税の強化”等々があり、他方では”自衛隊の海外派遣”、米軍と一体化した軍備強化”、“平和憲法廃棄”の動きがあります。でもこの両側面は表裏一体の動きだと考えるべきだと思います。それは、「九条廃棄」を主張する政界・産業界の人たちが、同時に「規制緩和、貧富・格差拡大」を主張し、実行してきた人たちと重なることを考えるだけで明らかだと思います。競争オンリーの「新自由主義」政策を、海外にまで推進するには、「平和憲法」は邪魔なのでしょう。

だから、“九条を守る”活動は、膨大な「内部留保」の1%未満を当てるだけで、今の「派遣切り」をなくすることができるというのに、株主への配当は増やしても「首切り」は自由にやる、という「資本の暴走」に「待った」をかけ、“新自由主義”、“不当な格差・貧富の拡大”に反対する活動でもあると僕は思います。

今の状況がさらに深刻化すれば、彼らの云う「愛国心の育つ基盤」が失われてしまいます。その先にファシズムが出てくるのか、本当に国民のための政府ができるのか、それは僕らの今後の活動が決めることだと思います。今の状況がどんなに深刻か。日本経団連やトヨタが先日、共産党と会談をするという、今まででは考えられなかったことが生じているくらいですから、経営者団体ですら、現状に対する危機感は強いと思います。

選挙の中で、マニフェストに掲げた主張にどの政党もますます縛られていきます。だから、いかに民意を強化していくか、そのためにできることをやっていくことが大事な所以です。

アメリカでオバマ新大統領が就任した日に



神流湖、ワカサギのボート釣り

群馬県 尾関 計久

神流湖（かなこ）は神流川をせき止めてできた埼玉県境に近い群馬県南部にある下久保ダムの上流湖のことです。

神流湖のワカサギは大きくて美味しいと評判です。釣れているらしいので1月7日出かけてみました。ただし、釣れる所はピンポイントで難しいらしい？

まったくそのとおりで、湖に張ったロープにボートを繋ぐのですが、私の隣のボートと3m先の向かいのボートの人は80匹、私は2匹！ただし大きかった。

いつ群れが来て釣れるのかと気に病んで朝にサンドイッチを食べそこね昼に食べていると「グオーン」と急に爆音がして上流の山からでっかいカーキ色の飛行機が2機現れた。周りの山より低いところを飛んでいるように見え、下流の山を2機で遊んでいるようにふわりと左に旋回して飛んでいった。

2月10日、今度はボート屋さんで橋の上流に連れて行ってもらった。繋いであった真ん中のボートに乗り移る。電動リール竿2本、仕掛けは2m10本針、餌はジャンボサシ、ブドウ虫、深さは18.5m。餌をつけて釣で少し切り汁が滲むようにして仕掛けを下ろす。「オッ」竿先が震えた、すかさず合わせると、竿に重みがあったので電動リールを巻き上げる。糸が少し左右に揺れながら上がってくる。「デカ！」握った手からはみ出している。

今回も遅い朝飯を食べていると爆音、4発のカーキ色の輸送機1機が飛んできた、前の時と同じものと思う、今回は前と比べると上空を飛んでいった。

8時から15時までの釣果は228匹、1、486g、1月7日の100倍！ワカサギはフライにしましたがふわふわで美味しくワカサギ釣りはカミサン公認になりました。

輸送機についてネットで米軍横田基地を調べてみるとC130Hのようで、日本には13機いて、自衛隊も16機所有し、機体を空色に染めてイラクに派兵した輸送機です。いずれにしても、戦闘のために敵地に見立てて狭隘な地形を飛ぶ訓練をしているのだろう。前橋でも戦闘機4機が低空飛行をして問題になってい

る、我が物顔の軍用機をなんとかせねばと思う今日この頃です。

クリントン米国防長官訪日

米軍基地経費の「思いやり予算」から協定による義務化と沖縄基地建設・恒久化

今年2月17日、訪日中のクリントン米国防長官と中曽根外相は在沖縄米海兵隊のグアム「移転」など「米軍再編」に関する協定に署名した。

内容についてマスコミを注視していたがサッパリ分からなかった。安保廃棄中央実行委員会発行の「思いやり予算と米軍天国」を読んでやっと概要がつかめた。

それによると、「在日米軍駐留経費」には日米地位協定(米軍基地はタダで提供するが、基地内の費用は全てアメリカ政府と米軍が負担する)に違反して、「思いやり予算」がある。「思いやり予算」とは1978年、米政府が財政赤字を理由に「米軍駐留経費」の負担増を要求してきたのに対して、金丸防衛長官(当時)が「思いやりの精神があってもいいじゃないか」と発言して駐留経費の負担に踏み出したもの。

「思いやり予算」は、78年に62億円で始まり増額に次ぐ増額で、2008年度には2083億円となり、この31年間に総額5兆円以上もの税金が米軍基地のために投入されてきた。

今、米軍は世界戦略の見直しによる「米軍再編」を進めており、グアム基地の拡張強化もその一環として計画されている。06年5月、日米安全保障協議委員会合意された在日米軍再編に関する最終報告(ロードマップ)は、グアム移転費60.9億ドルをはじめ「米軍再編」の日本負担260億ドルを決めた。

日本政府は、グアム基地に在沖縄海兵隊(現在1万2、3千人)の一部が移転する(1万人は残す)ことを経費負担の理由にして「ロードマップ」に示された「超」思いやり予算を実行しようとしている。

クリントン米国防長官訪日による「協定」は、在沖縄海兵隊の一部移転と新基地(名護市辺野古沖)建設・恒久化をパッケージとし、さらに「思いやり」などではなく「ロードマップ」に従って確実に日本が経費負担する法的義務を負わせるものである。(編集)

海兵隊のグアム移転に伴う日本負担

事業内容	分類	負担額
司令部棟、兵舎、教場、学校、託児施設	財政支出 (税金から)	28億ドル (上限)
家族住宅(約1万人分)	政府出資 金融融資	15億ドル 6.3~10.5
上下水、電力、ゴミ処理場	金融融資	7.4億ドル
合計		60.9億ドル

最近の主な出来事

- ◎ 11月19日、防衛省は自衛隊幕僚学校の「歴史観・国家観」の講師(6名)の一部(5名)を明らかにした。明らかとなった5名は「新しい歴史教科書を作る会」のメンバー(3名)など全員が侵略美化派。氏名が黒塗りになっている一名も八木秀次・「作る会」三代目会長と見られます。
- ◎ 12月12日、イラク特措法に基づき現地で物資や米兵を空輸してきた航空自衛隊・派遣部隊は12日、2004年3月の開始より821回で任務を終了した。なお、同活動は憲法違反との司法判断を受けている。
- ◎ 12月14日、ブッシュ大統領はイラクの首都バグダットを突然訪問した。この日の会見の場で、イラク人記者がブッシュ氏をののしりながら靴を投げつけ、警護要員に取り押さえられるハプニングがあった。ブッシュ氏は15日、イラクに続きアフガニスタンを予告なしに訪問した。
- ◎ 12月19日、衆院議運は理事会を開き小坂憲次委員長(自民)は、憲法審査会を始動させるため、来月からの通常国会で同審査会規定を制定すべきだと提案した。憲法原案を審査する権限を持つ憲法審査会の規定は、委員数や運営方法などを定めるもの。各党は持ち帰り検討することとなった。
12月22日、外務省が22日付けで公開した文書によると、中国による初の核実験後、1965年1月の日米首脳会談で佐藤栄作首相(当時)が日米安全保障条約に基づき、日本が核攻撃を受けた場合に米国が核兵器で報復する「核の傘」の確約を迫り、ジョンソン大統領(同)が「保証する」と応じていたことが明らかになった。
12月27日、民主党の小沢代表は水戸市内で記者団

に対し、政府が海上自衛隊の護衛艦をソマリアに派兵する新法を検討していることについて「憲法解釈をはっきりさせないで、法律を作ることによってなし崩し的に勝手なことをするのは良くない」と指摘。また、「基本的に自国の船舶を警備することは海上保安庁でもできることだと思うが、憲法上の疑義はない」とも語り、政府の検討に一定の理解を示した。

- ◎ 1月20日、「変革」を掲げ、「イラクからの撤兵とアフガン増派兵」や「核兵器の削減」などを主張して昨年11月の大統領選挙に勝利したバクラ・オバマ氏(47歳)は、20日正午連邦議会議事堂で宣誓し、第44代大統領に就任した。
- ◎ 1月28日、政府は安全保障会議で海賊対策を口実にアフリカ東部・ソマリア沖への海上自衛隊派兵の方針を決定した。これを受け浜田防衛相は同日、赤星海上幕僚長らに対して、派兵準備指令を出した。3月中の活動開始を狙って準備に着手した。
- ◎ 2月17日、中曽根外相と来日中の米国クリントン国務長官は、在沖繩米海兵隊のグアム「移転」に関する協定に署名した。協定は、日本が28億ドルの直接的な財政支援を含め60億9千万ドルを提供すると定めている。政府は協定批准承認案を今国会に提出する方針。

ホームページ・リニューアルしました
「ハイウェイ九条の会」で検索できます。

ハイウェイ九条の会

このホームページは、ハイウェイに関わる仲間が作っています。皆様といっしょに平和を考え、憲法九条を守る一助になればと思います。
ついでに、当ホームページに対する意見や感想などを、気軽にをお寄せいただけたら大変嬉しく思います。(結成 2006年7月8日)

●全国版九条の会 ●戦争を語り継ごう(リンク集) ●戦後体験記 (S20~21) ●賛同のお願い ●本会での小森陽一氏の講演記録 ●本会での小森陽一氏の講演録音 ●ハイウェイ九条の会会報(1~6号までが読めます) ●「憲法改正」が消えた施政方針演説 建国記念日は憲法とはなじまない ●NEW !! 日本国憲法条文 NEW !! 3.1ビキニデーについて



メール

掲示板

NEW !!

ご意見をお寄せください。

- マスコミ九条の会
- 音楽・九条の会
- 京女・九条の会 ●沢田研二「わが窮状」が視聴できます。
- 東海放送人九条の会

この会の活動費の大部分は、「会報」の発行・送料に使われています。金額の大小を問わず協賛金にご協力をお願いします。

協賛金振込口座 ちば興業銀行 佐原(さわら)支店・(店番号820)

口座名義 西岡幸雄(ニシオカユキオ) 口座番号 普通預金 1016510